

教室名 H 指導者 職・氏名 教諭 (石川県立金沢伏見高等学校)

指導日時 平成 18 年 10 月 23 日 (月) 3 限目

対象生徒 普通科 2 年(次)生 40 人(内訳 H 40人)

科目名 英語II (単位数 3)

使用教科書 Power On English II (東京書籍)

副教材 Target 1400 (旺文社)

1 単元(題材)名 Lesson 4 Living with Technology 及び Target 1400

2 単元(題材)の目標

- ・科学技術の進歩がもたらす利点と問題点を知り、携帯電話やコンピュータ等の分別ある利用の仕方について、理解を深めようとしている。【知識・理解】【関心・意欲・態度】
- ・一定の時間内に段落ごとの要旨(topic sentence)を読み取り、書き手の意向の全体像をつかむことができる。【理解の能力】
- ・形式目的語、過去の習慣を表すwould、S + V + C(whetherで始まる節)、S + V + O(whether/ if で始まる節)についての知識を身に付け、それらを用いて伝えたい内容を表現することができる。【知識・理解】【表現の能力】
- ・話し手の意向が聞き手に伝わるような音読ができる。【表現の能力】

3 指導にあたって

(1) 生徒の状況

とてもにぎやかで、活発な生徒の多い学級であり、題材に興味・関心がわくと、積極的に取り組み、授業も盛り上がる。時として、集中力やけじめを欠いたり、勢い余って思い思いの方向へ授業を引っ張ろうとするので、生徒を飽きさせないように、多彩な活動を工夫する必要がある。

(2) 指導方針・方法

年度当初より、毎回の授業の冒頭に語彙を増やす活動を行っており、継続して語彙力の強化を図りたい。

教科書では、単元の最初に、制限時間を設けて段落ごとの要旨(topic sentence)を見つけ出し、単元全体の概要を読み取らせる。

科学技術の進歩がもたらす利点と問題点を知り、本文の内容や言語材料の理解と定着を図りながら、科学技術の分別ある利用法について考えさせたい。また、話し手の意向が聞き手に伝わるような読み方についても丁寧に指導していきたい。

(3) 教材選定の理由

科学技術の代表として、携帯電話、インターネット、テレビゲームを題材として扱っている。これらは高校生の日常生活に身近な題材であり、生徒の高い関心・意欲が期待される。また、形式目的語をはじめとする文法項目や語彙表現は、使い方を理解し、表現を豊かにするために身に付けてほしい言語材料である。

4 単元（題材）の指導計画（総時数 6 時間）

時	パート	内 容
第1時	導入	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を聞き取り、綴りと意味がわかり、正しい発音をする。 【知識・理解】 ・段落ごとの要旨を読み取り、書き手の意向の全体像をつかむ。【理解の能力】
第2時	1	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を聞き取り、綴りと意味がわかり、正しい発音をする。 【知識・理解】 ・科学技術による生活の変化について、医者や科学者が心配していることを読み取る。【理解の能力】 ・本文の内容を正しく聞き取る。【理解の能力】 ・形式目的語の知識を身に付ける。【知識・理解】
第3時	2	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を聞き取り、綴りと意味がわかり、正しい発音をする。 【知識・理解】 ・科学技術の問題点を読み取る。【理解の能力】 ・本文の内容を踏まえた音読をする。【表現の能力】 【関心・意欲・態度】 ・過去の習慣をあらわす would の知識があり、それをを用いて伝えたい内容を表現する。【知識・理解】 【表現の能力】
第4時	3	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を聞き取り、綴りと意味がわかり、正しい発音をする。 【知識・理解】 ・科学技術が子どもに与える影響を読み取る。【理解の能力】 ・本文の内容を踏まえた音読をする。【表現の能力】 【関心・意欲・態度】 ・S + V (be動詞) + C (whetherで始まる節) の知識があり、それをを用いて伝えたい内容を表現する。【知識・理解】 【表現の能力】
第5時	4	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を聞き取り、綴りと意味がわかり、正しい発音をする。 【知識・理解】 ・科学技術を利用するのに注意すべきことを読み取る。【理解の能力】 ・本文の内容を正しく聞き取る。【理解の能力】 ・S + V + O (whether/ if で始まる節) の知識があり、それをを用いて伝えたい内容を表現する。【知識・理解】 【表現の能力】
第6時	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・単語を聞き取り、綴りと意味がわかり、正しい発音をする。 【知識・理解】 【関心・意欲・態度】 ・パートごとに、本文の内容を英問英答で復習する。【表現の能力】 ・科学技術の恩恵と問題点、利用上の留意点について、英語で意見交換する。 【関心・意欲・態度】

5 本時の学習（第 1 時）

(1) 本時のねらい

- ・単語を正確に聞き取り、綴りと意味を理解して、正しい発音をする。
- 【知識・理解】
- ・段落ごとの要旨を読み取り、書き手の意向の全体像をつかむ。【理解の能力】

(2) 準備・資料等 単語テスト用紙と教科書の本文CD、CDプレイヤー

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準
休み時間	予習	①前回のテスト用紙を列ごとに受け取る ②コメントに目を通す	①用紙は列ごとに返す ②本時の単語の発音等、生徒の疑問に答える	単語を正確に聞き取り、綴りと意味がわかる
2分半	単語テスト(聞く)	①用紙を裏返す ②10個の単語とヒントの例文を聞き、単語の綴りと意味を書く	単語の番号を言い、それぞれ単語を2回、ヒントの例文を1回読み上げる	【知識・理解】 (単語テスト)
2分	採点・練習(書く)	①単語帳を開き、自己採点する ②用紙の空欄に、間違えた語を練習する(満点なら、次回の語を練習) ③終了の合図で、用紙を提出	①机間指導し、採点規準の疑問に答え、努力した生徒を褒める ②2分間、手を休めることなく練習させる ③書くのを止めさせ、用紙を回収する	
2分半	単語の復習(発音する)	上の10語を、単語帳を使い、教師の後に続き、3回ずつ発音する 1回目：綴りと発音記号を見て発音する 2回目：教師を見て発音する 3回目：教師を見て発音と意味を言う	①必要に応じて発音記号の読み方を教えたり、例文を紹介したりする ②2、3回目の発音は、文字を見ず、教師を見ることを徹底させる	
1分	次回の単語の紹介(聞く)	次回テストの単語10語について、発音を聞く	番号を言い、2回ずつ発音する	
3分	教科書の導入(聞く)(話す)	①単元のテーマについて、教師の説明を聞く ②科学技術の一例を挙げる	単語テストに出た単語を一部用いて説明し、単元の題材を提示する	
25分	単元全体の要旨をつかむ(読む)	①パラグラフ・リーディングの概要を知る ②Part 1～4を段落ごとに読み、各段落の主文を見つける	①書き手の意向の全体像をつかむ方法を理解させる ②段落ごとに時間を区切って答えあわせする	書き手の意向を読み取ることができる【理解の能力】 (ノート提出)
2分	要旨の新出単語の発音(発音する)	教師の後に続き、3回発音する 1回目：綴りと発音記号を見て 2・3回目：教師を見て	手本を示し、正しく発音させる	
10分	要旨の音読(聞く)(読む)	①単元全体の要旨について、教師の音読を聞く ②教師の後に続き音読する	英語のリズムに注意を払って音読させる	
2分	まとめ、予告	①パラグラフ・リーディングの効用を確認する ②Part 1の主文を並べて、その内容の大筋をつかむ	①単元全体の要旨がつかめたことを自覚させる ②Part 1の要旨を確認し、詳細の家庭学習を促す	

